

トップメッセージ



企業価値向上と成長を図り “人が活きる”環境づくりで 持続可能な社会に貢献する

代表取締役 社長執行役員 **中村 雅行**

オカムラのDNAと経営の基本方針

オカムラは、創業以来、お客さまのニーズを的確に捉えたクオリティの高い製品とサービスを社会に提供することに努めてまいりました。そうした中で、持続可能な社会を実現することの重要性が高まるなど変化する世の中の価値観に合わせ、既存の経営理念を一部改訂し体系的に整理した「オカムラウェイ」を2021年7月に策定しました。

「豊かな発想と確かな品質で、人が活きる環境づくりを通して、社会に貢献する。」をオカムラのミッションとし、事業活動の経済的側面と同時に社会的側面、環境的側面の重要性を認識し、企業の社会的責任を果たす経営に取り組んでいます。

時をさかのぼると終戦の年である1945年、設立の主旨に賛

同した技術者たちが、資金、技術、労働力を提供し合って「協同の工業・岡村製作所」としてスタートを切りました。その創業の精神は、「創造、協力、節約、貯蓄、奉仕」の5つの言葉からなる社是と、これを受けた基本方針により企業文化として定着し、「よい品は結局おトクです」をモットーに歩んでまいりました。その精神は「オカムラのDNA」として現在のオカムラグループの経営と事業活動に脈々と受け継がれています。

中期経営計画により企業価値の向上へ

「労働人口の継続的な減少」「働き方改革の普及」「デジタル技術の進展」など社会環境が変化する中、5年後の目標を設定しそれを達成するため、2021年3月期から2023年3月期まで

の3カ年を対象とする中期経営計画を策定しています。

中期経営計画の基本方針を「新たな需要の創造、効率的な経営、グローバル化の推進により、継続的な成長とESGへの積極的な取り組みを通じて企業価値向上を図る」とし、定量目標（2025年3月期）を売上高営業利益率7%以上、自己資本当期純利益率（ROE）10%と定めました。

また、環境の変化に対応するため、事業構造を変革するとともに、「サプライチェーンの改革」「デジタル技術の活用」「海外事業の強化」の重点3課題について全社横断的に取り組んでいます。

変化の激しいビジネス環境下で多様化するニーズや社会課題に柔軟かつ機動的に対応するため、経営戦略の一環としてDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を強化します。最先端のデジタル技術を積極的に活用し、各事業の成長に貢献していきます。

社会や市場のニーズの変化を先取りした製品・サービスの開発や新たな事業モデルの構築を促進・実現するとともに、これまでのオペレーションの仕組みをこれからの変化に対応しうるものとするために構造変革を進めてまいります。

サステナビリティ重点課題への取り組み

ステークホルダーの皆さまからの期待や地域・社会の課題解決に対しグループ一体となって応えていくために「人が活きる環境の創造」「従業員の働きがいの追求」「地球環境への取り組み」「責任ある企業活動」の4つの観点からサステナビリティ重点課題を特定しKPIを設定の上、取り組みを推進していま

す。社会に貢献するとともに持続的な企業価値の向上をめざしてまいります。

また、オカムラは国際連合が提唱する「国連グローバル・コンパクト」に署名し、2020年2月26日に参加企業として登録されました。グローバル・コンパクトの人権に関する2つの原則である「人権擁護の支持と尊重」「人権侵害への非加担」の考え方を踏まえ、企業活動のさまざまな側面において取り組みを進めています。

地球環境への取り組みは重要なテーマ

オカムラグループは、「オカムラグループ環境方針」に基づき10年ごとに策定している環境長期ビジョンを2021年に見直し、事業活動に伴う環境負荷低減の重要性を認識し企業の社会的責任を果たす経営をめざす新たな長期ビジョンとして「GREEN WAVE 2030」を策定しました。サステナビリティにおける重要なテーマの一つである「地球環境への取り組み」では、「気候変動への対応」「資源の有効利用」「製品ライフサイクルを通じた環境配慮型製品・サービスの提供」を重点課題に特定しています。

2050年カーボンニュートラル実現をめざし、そのマイルストーンとして2030年のCO₂排出量の削減目標を2020年比50%とした目標を掲げています。

オカムラグループのすべての事業活動において環境負荷の低減に取り組むとともに、お取引先やお客さまとのパートナーシップにより積極的な環境活動を推進してまいります。

多様性を尊重し従業員の働きがいを追求

オカムラグループは、従業員を共に企業を発展させる協力者、チームの一員と位置づけ、従業員の相互協力を重視した事業活動を通じて、より大きな成果を生み出すことをめざしています。一人ひとりが最大限に能力を発揮できるように働き方改革を含めた職場づくりを進め、企業の成長と従業員の生活向上に結び付けています。

さらに「健康経営宣言」のもと従業員の健康と安全に配慮した職場づくりに努めています。従業員の健康を重要な経営課題と捉え、健康経営を具体的に推進するために2017年9月に「健康経営宣言」を制定、2020年4月にはオカムラの働き方改革「WiL-BE (ウィル・ビー)」*の基盤として健康の重要性を再確認し「健康経営宣言」を改定しました。各種健康施策の拡充や「WiL-BE」のさらなる推進により、従業員が生き活きと働きながら、お客さまにも健康的な働き方を提案することで、それぞれが思い描く生活の実現をめざしています。経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2022 (ホワイト500)」には、2018年から5年連続で認定されました。また、多様な人材が活躍できる制度や仕組みづくり、職場改善に取り組むとともに、個々の従業員が意識を変え行動しながら働ける環境を追求しています。それぞれが働きがいを感じ、互いに協力し、自己成長できる環境をめざす基準となっているのは、一人ひとりの多様性を尊重した「ダイバーシティ & インクルージョン方針」です。この中にある「多様性の受容」の考え方を基本に、さまざまな属性・価値観・発想を持つ人財を積極的に採用し、働きやすく能力が発揮できる環境づくりに取



り組みながら、社会・文化の多様性や環境の変化にも柔軟に対応できる企業文化の醸成につなげています。

人々が笑顔で生き活きと輝く社会の実現へ

オカムラグループは今後も、提案力と皆さまの要求に応える製品供給力をさらに強化してまいります。そして、トータルソリューション企業への変革とグローバル化の推進を図るとともに、企業価値のさらなる向上と社会課題の解決をめざします。すべての人々が笑顔で生き活きと働き暮らせる社会の実現に貢献してまいります。今後とも、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

* オカムラでは働き方改革を「WiL-BE (ウィル・ビー)」と名付けて推進しています。「WiL-BE」はオカムラが提唱する「Work in Life (ワークインライフ)」に由来していますが、Work in Lifeは「Life (人生)」にはさまざまな要素があり、その中の一つとしてWork (仕事)がある」という考え方です。